

熱心に料理を学ぶ

宮野河内地区男性料理教室



▲熱心に調理をする参加者

3月9日、河浦町の宮野河内地区振興会主催の「男性料理教室」が同地区コミュニティセンターで開かれ、地区内の男性9人が参加しました。地域の女性ボランティアによる指導のもと、ツナとしめじの炊き込みごはんや大根と手羽先の煮物など4品を熱心に調理。その後、料理を食べた参加者は、「なれない作業でもおいしくできた。ひとり暮らしになってもだいじょうぶ」と話していました。

安全運転は笑顔がいちばん！

手野まちづくり振興会 “もへじ會” 交通安全キャンペーン



▲安全運転を呼びかけるようす

五和町手野地区の若者で構成する、手野まちづくり振興会 “もへじ會” による交通安全キャンペーンが2月28日、地区内を通る県道沿いで行われました。ご当地ヒーローの五和戦士オンノジョーが参加したほか、メンバー10人がアントニオ猪木などにふんして、ドライバーにチラシやまんじゅうなどを手渡ししながら安全運転を呼びかけ、ドライバーは驚きながらも笑顔で受け取っていました。

御所浦の魅力でおもてなし

島♡あじマラソン大会

御所浦町の島民との交流会と宿泊をセットにした「第1回島♡あじマラソン大会」が2月27日、御所浦港発着の御所浦島と牧島を周回するハーフマラソンコース（21.0975km）で開かれました。同大会実行委員会が、人から・景色・食材などの島の『あじ』（魅力）を味わってもらい、地域活性化につなげようと初めて実施したものです。九州各県や関東などから125人が参加し、沿道の応援や給水所での甘夏ジュースなどのふるまいを受けながら、潮風かおるコースを思いおもいのペースで走っていました。

マラソン後に行われた交流会では、参加者は海産物の料理などのおもてなしを受け、「次回もぜひ参加したい」と感激したようすで話していました。

▶沿道の応援を受けて走る参加者



▲マラソンのスタートのようす



▲にぎわいを見せた交流会

春の訪れを体感！

大宮地川シロウオ祭り



▼シロウオ漁体験のようす

▲シロウオ

「大宮地川シロウオ祭り」が2月28日、新和町大宮地のはまぼう群生地駐車場一帯で開かれました。大宮地地区振興会が、産卵のため川をさかのぼるシロウオの群れを、仕かけた網で引き上げてとる、地元では春の風物詩として知られる“シロウオ漁”を地域活性化にいかそうと初めて開催したものです。漁体験のほか、シロウオの踊り食いやかき揚げなどのバザーを実施。家族連れなど500人が来場し、春の訪れを体感していました。

お茶たてに挑戦！

和貴保育園・作法茶会



▲たてたお茶をすすめる園児たち

2月27日、栖本町の和貴保育園で「作法茶会」が開かれました。園児たちに日本伝統の作法を通じて思いやりの心を身につけてもらおうと毎年開催しているもの。

着物に身を包んだ年長の園児13人が、先生の指導のもと熱心にお茶たてに挑戦。たてたお茶は、来場した保護者や栖本小学校の6年生などにふるまいました。

園児たちは、「難しくて緊張したけど、がんばりました」と満足そうに話していました。

天草漁協崎津支所に水産物直売所オープン！

「きんつ市場」開所



▲「きんつ市場」の外観

3月6日、河浦町の天草漁協崎津支所前に、水産物直売所「きんつ市場」がオープンしました。“きんつ”とは、同支所で多く水揚げされる魚の“ホウボウ”の地元での呼び名。世界遺産登録をめぐす“天草の崎津集落”を訪れる観光客を呼び込んで、水産振興を図ろうと開所したものです。とれたての魚介類などが販売されるほか、海鮮バーベキューも実施。営業は午前10時～午後4時で、毎週水曜日が定休日。詳細は、同市場☎0333へ。

椿の花に囲まれ春のひとときを満喫

あったか天草椿まつり



▲椿のスケッチをする参加者

「第25回あったか天草椿まつり」が3月6日、天草町の大江西平椿公園で開かれ、市内外から1,000人が来場しました。同まつり実行委員会が、公園一帯に群生する“やぶ椿”をPRしようと毎年開催しているもの。

椿スケッチ大会や椿油の搾油実演のほか、ステージイベントなどを実施。地元のエビを使った海鮮鍋や椿油ごはんなども販売され、来場者は春のひとときを満喫していました。